

[ 銘柄コード:4734 ]

# BEING

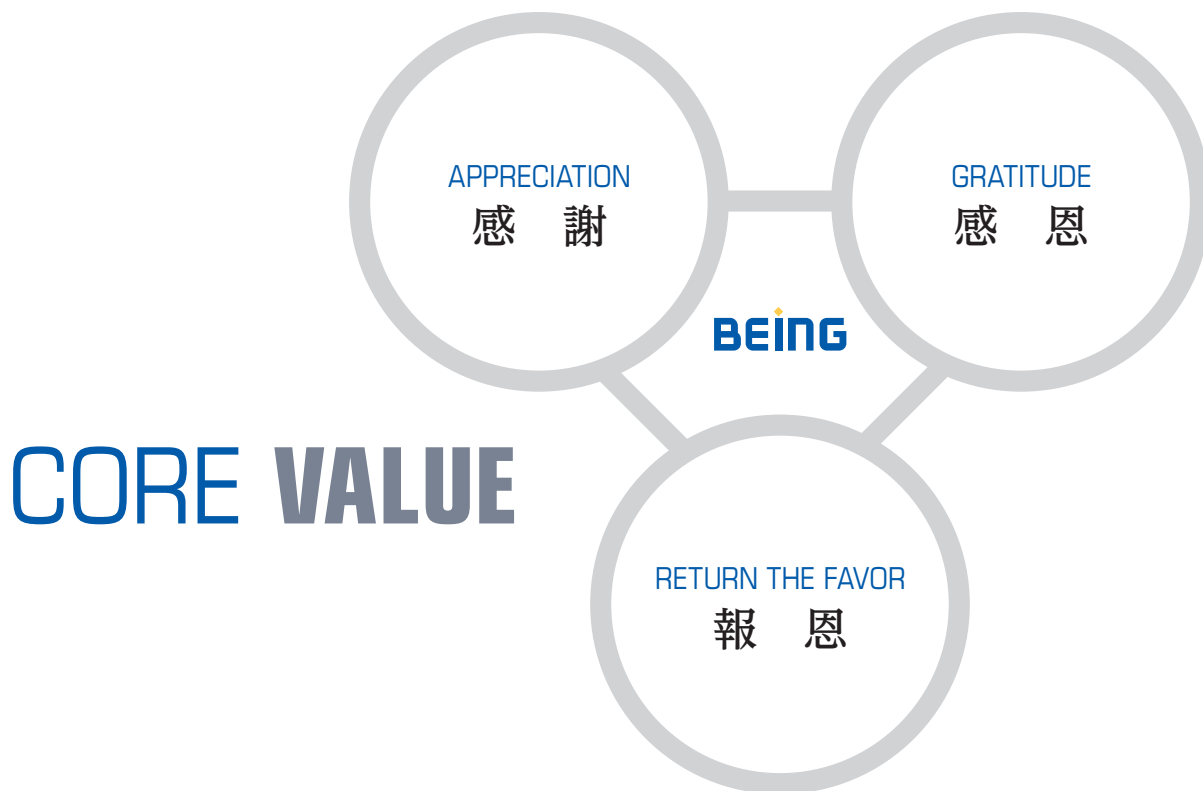
第37期中間期 | ビーイング通信

2020年4月1日  2020年9月30日



## コアバリューについて

ビーイングのたゆまぬ歩みの礎となり、絶えず適切な方向へと導く源泉となってきたものが、創業以来のコアバリューである「感謝・感恩・報恩（感謝の気持ちを忘れず、恩を感じ、恩に報いる、の意）」です。ビーイングの企業理念・倫理規定として社員一人ひとりに確実に受け継がれており、事業運営の中核となっています。



## 開発力強化への取り組み

2013年、ミャンマーに開発会社を設立。プログラミング技術研修とあわせて日本語教育を実施することで、現在は当社の開発案件を受託できるオフショア拠点に成長しました。2017年、長崎県五島市に積算データ専門の入力センターを設立。さらに2019年には、Webアプリケーションの開発環境Ruby on Railsに特化した開発受託会社を子会社化するなど、グループの総合開発力強化に取り組んでおります。

## ◆建設関連事業

### 建設業界の業務フロー全体を支援する 「建設ICTソリューション」

積算ソフトのシェアNo.1（※）を誇るGaiaシリーズを筆頭に、建設業様向けソフトを販売しています。計画、入札、収支管理、書類作成、工程管理などの業務フローを総合的に支援する多種多様な商品群は、高い評価を得ています。

創業以来培ったノウハウを基に、ソフト間のデータ連携、ダウンロードサービスの充実、正確なデータの迅速な提供、お客様にご満足いただけるサポートサービスなど、時代の変化やニーズにあわせ、たゆまぬ改善活動を続けています。

※「積算ソフト利用実態調査」「建設ITガイド2007」（一般財団法人経済調査会）

Gaia Gaia10  
CLOUD

BeingProject-CCPM BeingBid  
Critical Chain Project Management Bid management system

BeingBudget 評点PLUS+

BeingCollaboration®

BeingCollaboration PM サガシバ

## ◆生産性向上コンサルティング事業

### 想定外を想定内にする プロジェクトマネジメントサービス

TOC-CCPM理論に対応した国産初のソフトウェアで、技術・サービス・システム開発など様々なプロジェクトの生産性向上や工程管理、経営改善に効果を発揮します。製造・サービス・ITなど多様な業界に採用され、プロジェクト管理ツール市場において国内シェアNo.2（※）を獲得しています。欧米・アジアなど海外のお客様にもご利用いただいております。

子会社であるビーイングコンサルティングのTOC専門部隊によるコンサルティングサービスを、管理用ソフトウェアとあわせてご提供するスタイルでご好評をいただいております。

※「ソフトウェアビジネス新市場2011年版」（株式会社富士キメラ総研）

BeingManagement 3  
Critical Chain Project Management

### TOCとは

1970年代後半にイスラエルの物理学者、故エリヤフ・ゴールドラット博士が提唱、1984年に同博士が執筆した小説仕立ての解説書「The Goal」によって世界的に普及しました。DBR、思考プロセス、CCPMなど目的に応じたソリューションを持ち、世界中の企業から多くの成功事例が報告されています。

## ◆設備関連事業

### 「どこでも、誰でも」を実現する水道・電気設備申請支援CAD

電気・水道設備の工事業者様向けのソフトウェアで、主に子会社であるプラスパイププラスが販売。工事図面、見積書・申請書類の作成に効果的です。2018年には、JW-CADユーザー向け立面図・縦断面図作成システム「plusCAD水道」と利益が見える現場管理システム「要」も販売開始。今後も互いの強みを活かし、より幅広いサービスを提供してまいります。

plusCAD 水道

plusCAD 電気 α

plusCAD 水道 J 要

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度の新型コロナウイルス感染症により影響を受けている皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

ここに、当社第37期中間期（2020年4月1日から2020年9月30日まで）の営業概況についてご説明申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響で不透明な経済環境にありますが、全社一丸となって社会・経済構造の変化を確実にとらえ、創意工夫を積み重ねながらさらなる成長を目指してまいります。

2020年12月

代表取締役社長

津田 絨



## CONTENTS

3 ごあいさつ

5 連結財務ハイライト

7 子会社 株式会社ラグザイア  
社長インタビュー

9 会社概要／株式の状況

10 トピックス

## ◆ 第37期中間期の営業概況について

### コロナ禍対応で営業活動を一部制限

当中間期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受け、刻一刻と変わる感染状況を見極めながらの経済活動維持が続きました。

当社グループにおいては、特に生産性向上コンサルティング事業において、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けております。建設関連事業及び設備関連事業においては、社員の安全確保と感染拡大防止の観点から営業活動を一部制限していた影響で、新規リードの確保に困難が生じるなどの影響がありました。

### 売上高は前年同期比3.7%減 純利益は1.9億円

この結果、当中間期の売上高は、前年同期に比して3.7%減少し3,189百万円となりました。

コスト面では、主力製品である土木工事積算システム初のクラウド版である『Gaia Cloud (ガイアクラウド)』に係る研究開発が収束したことから、前年同期に比して研究開

発費が減少し、売上原価が増加しております。また、社員の安全確保と新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から一定の活動制限を行ってきたことにより、交通費等の諸経費を抑制することができました。

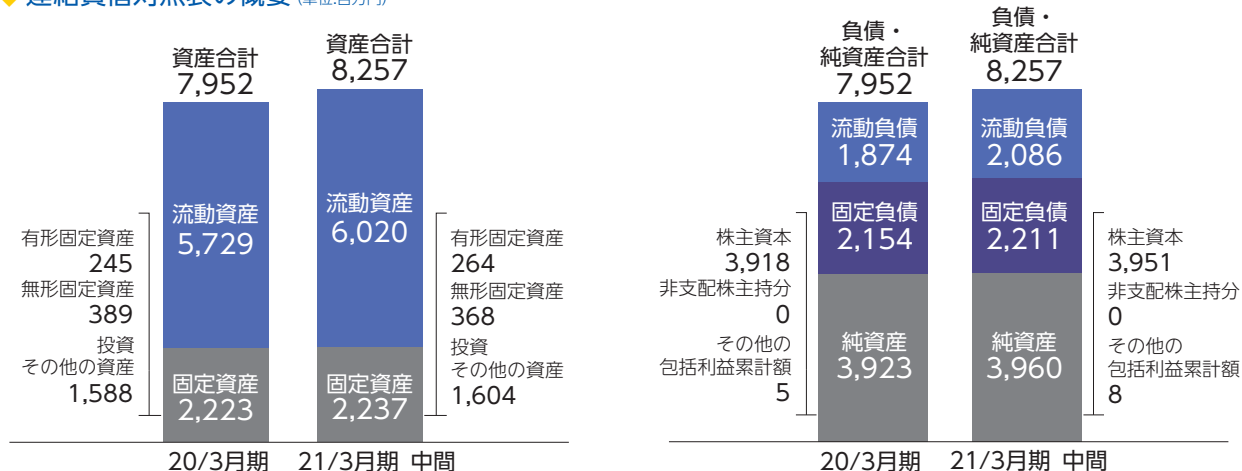
この結果、経常利益は前年同期に比して30.9%減少し352百万円となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期に比して43.0%減少し190百万円となりました。

### グループの発展に向け、挑戦し続けます

当社は、2019年のコンサルティングビジネスへの進出、前期に子会社化した株式会社ラグザイアによる開発力強化など、これまでも中長期的な視点のもと、グループ基盤の構築に努めてまいりました。

withコロナの時代においても、当社は変化を恐れず、グループ全体の進化をより一層加速してまいります。株主の皆様には、今後とも引き続き一層のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

## ◆ 連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



### Point | 総資産

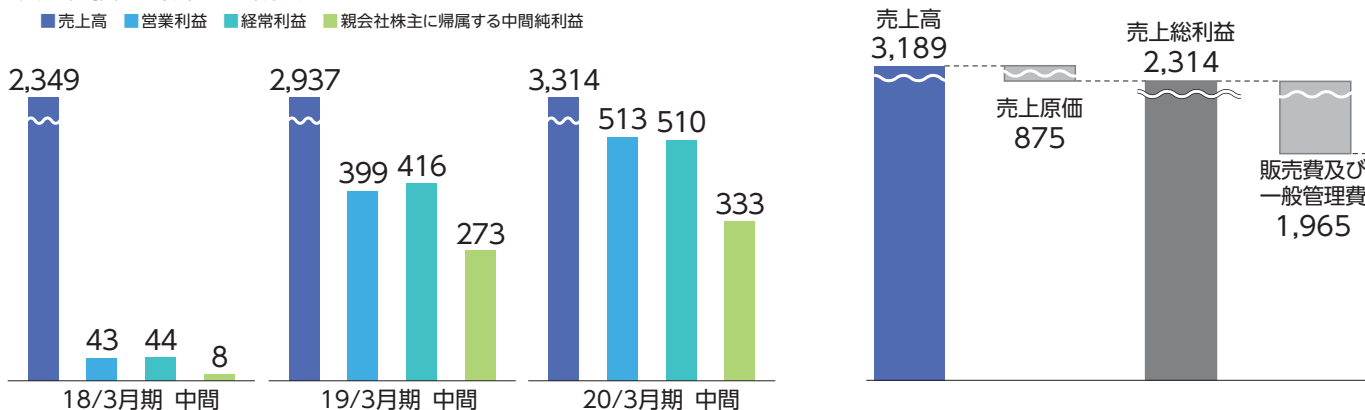
現金及び預金が441百万円、未収入金を含むその他流動資産が84百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が245百万円減少したことなどから、前期末に比べて305百万円増加し、8,257百万円となりました。

### Point | 純資産

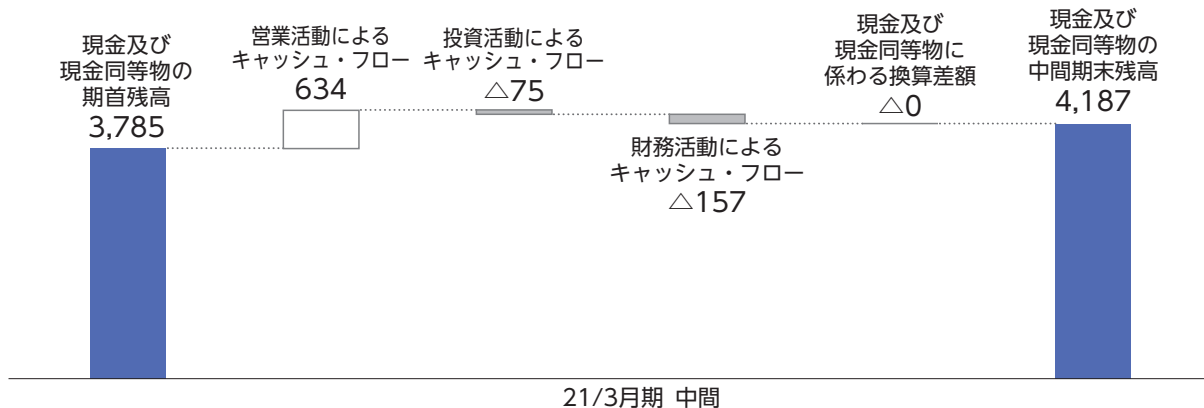
親会社株主に帰属する中間純利益の計上により190百万円増加し、配当により156百万円減少したことなどから、前期末に比べて36百万円増加し、3,960百万円となりました。

## ◆ 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)

■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 親会社株主に帰属する中間純利益



◆ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)

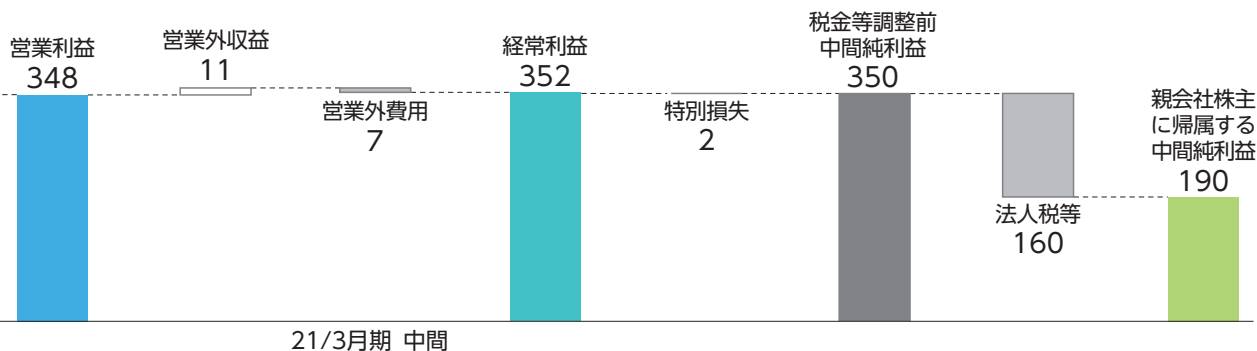


**Point** | 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前中間純利益350百万円の計上、売上債権の減少額245百万円などの収入、未払金の減少を含むその他の支出60百万円、法人税等の支払額83百万円などによる支出があったことにより、634百万円の増加（前年同期は337百万円の増加）となりました。

**Point** | 損益分析

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から営業活動に一定の制限を実施。それに伴い売上高、売上総利益が減少。『Gaia Cloud(ガイアクラウド)』に係る研究開発の収束、旅費及び交通費といった諸経費の抑制を行うも、売上総利益の減少分を補えず、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益の何れにおいても前年同期比で減益となっております。



当社グループにとって、持続的な成長を遂げて企業価値を拡大し続けるためには、グループ内の経営資源を有効に活用し、競争力をより強化していくことが重要と考えています。

その一環として当社は昨年、株式会社ラグザイアを完全子会社化しました。今回は特集として、株式会社ラグザイアの代表取締役社長 毛利良相より会社の説明と今後の展望をお届けします。

ラグザイア **L** LUXIA



株式会社ラグザイア 代表取締役社長

毛利 良相

## Q1. ラグザイアについてお聞かせください。

当社は2004年に設立し、ソフトウェアの受託開発をメインに行っております。ソフトウェアの受託開発に加え、当社独自ではオフィスの決裁業務効率化システムの開発や、ホームページ作成支援のクラウドサービスを提供しております。

当社はいわゆるエンジニア集団であり、世の中には多くの競合企業がございます。その厳しい事業環境下、当社が市場での競争優位性を確保するために取り入れたのがフレームワークRuby on Railsでのプログラミングです。Ruby on Railsは、一般的には馴染みのない言葉かと思われます。分かり易く申し上げますと、プログラミング効率が高く、高品質、万能性を持ち合わせたフレームワークです。当社はそのRuby on Railsが持つ可能性、将来性に着目し、特化することで成長を続けてまいりました。

## Q2. ラグザイアの強みについてお聞かせください。

一つは技術力です。当社の技術者には10年以上働いている社員も多く、これまでの経験が技術として蓄積されています。この技術力をもとにお客様と強い信頼関係を築かせていただいております。

また、もう一つの当社の強みが育成力です。当社では、新たな採用者の多くが未経験者となります。その育成に当たっては、先ず働きやすい環境を提供し、そして、私自身がエンジニアとして経験した感動、喜びを伝えるようにしております。その上で、エンジニアという仕事を楽しくて欲しいと思います。これが私の育成に対するこだわりです。エンジニアは今後より一層社会から必要とされます。その際に必要となるのは、若い発想であり柔軟な考え方で、私は、それをいつまでも大事にしていきたいと思っています。



### Q3. ビーイングの強みはどこにあるとお考えですか？

高い技術力、そして営業力だと思います。土木、建築業界でトップブランドの『Gaia』シリーズを展開する高い技術力、そして全国の営業所や代理店のつながりを活かした営業力です。当社では技術力＝営業力という面がありますが、ビーイングには技術力だけでなく全国の販売網という強い組織があります。この営業力は非常に魅力的であると考えています。将来的には、自社製品の開発にも挑戦していきたいので、ビーイングの営業力には大いに期待しています。

### Q4. グループ会社となることで期待されるシナジーを教えてください。

当社が得意とするRuby on Railsによるプログラミングは、グループ全体の今後の商品開発に寄与出来ると考えております。ビーイングはMicrosoft系フレームワークによるプログラミングに定評があり、両社のノウハウを統合することで、より多くのお客様ニーズに応えられると考えております。

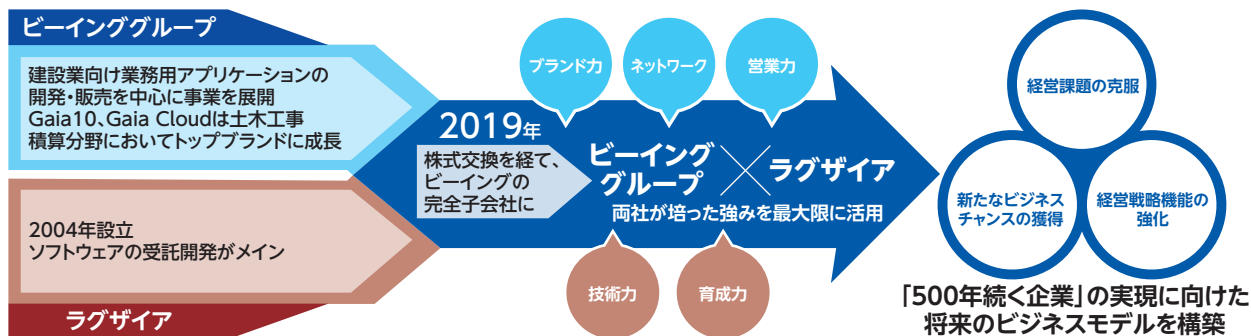
また、上場会社であるビーインググループの一員となることは、社会的信用の向上に繋がり、営業活

動・採用活動にプラスとなりました。結果、今まで以上に当社の競争力の源泉であるエンジニアの育成に重心が置けるようになることを期待しております。現在当社は、さらなる事業拡大に備え、エンジニア個々人の成長と合わせ、エンジニア数倍増のミッションを進めており、ともに順調な推移を見せております。

### Q5. ラグザイアの今後の展望は？

ビーイングの子会社となったことで、社会に対する責任、株主の皆様に対する責任を強く感じております。特に内部統制を含めた組織マネジメントの強化が必要であると感じております。

事業面では、ビーイングの持つ技術力を活かしながら、まずは共同開発している製品のリリースを進めたいと考えています。また、何よりビーイングから期待されているのは当社の技術力であると思いますので、エンジニア倍増計画を達成し、その強化を図ります。さらにその先には、当社のオリジナル製品も開発したいと考えております。ビーイングの津田社長とも情報共有をしながら、当社で研究開発するなら何が良いか、アイデアを温めているところです。実際のリリースはまだ先になると思いますが、ぜひ期待していただきたいと思います。



### ◆会社概要

商号	株式会社ビーイング (Being Co.,Ltd.)
所在地	本社 三重県津市桜橋1丁目312番地 TEL 059-227-2932 (代表)
設立	1984年9月18日
資本金	1,586,500,800円
従業員数	296名
主要事業	建設業向けアプリケーション …土木工事積算システム、情報共有システム、 見積・実行予算システム TOC関連アプリケーション …工程管理システム、サプライチェーン・マネジメント・システム
子会社	(株)プラスバイプラス …設備業向けCADソフトウェアの販売 Being (Myanmar) Co.,Ltd. …コンピュータソフトウェアの開発 (株)ビーイングDC …コンピュータソフトウェアの開発 (株)ビーイングコンサルティング …生産性向上コンサルティングサービスの提供 (株)ラグザイア …コンピュータソフトウェアの受託開発

### ◆株式数および株主数

発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	8,257,600株
株主数	1,576名

### ◆大株主

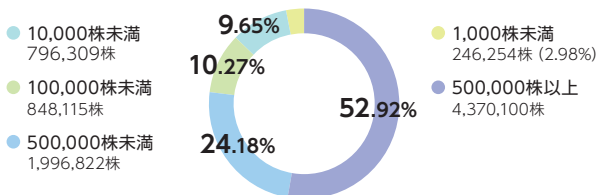
株主名	持株数	持株比率
有限会社ツールース	2,850,000株	34.51%
津田 能成	1,520,100株	18.40%
株式会社ビーイング	415,227株	5.02%
津田 由美子	381,800株	4.62%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224	300,000株	3.63%

### ◆役員

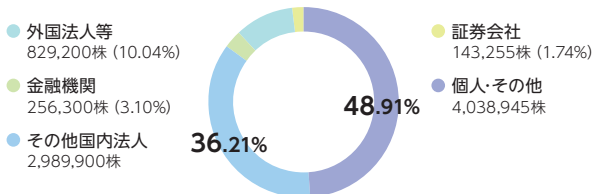
役職	氏名	担当	他の法人等の代表状況等
代表取締役会長	津田 能成		(有)ツールース 代表取締役 (株)プラスバイプラス 取締役会長 Being (Myanmar) Co.,Ltd. 代表取締役 (株)ビーイングDC 代表取締役会長 (株)ビーイングコンサルティング 代表取締役社長 (株)ラグザイア 代表取締役会長
代表取締役社長	津田 誠		(有)ツールース 取締役 (株)ラグザイア 取締役 (株)プラスバイプラス 取締役
常務取締役	後藤 伸悟	経理部長	(株)プラスバイプラス 監査役 (株)ビーイングDC 監査役 (株)ビーイングコンサルティング 監査役 (株)ラグザイア 監査役
常務取締役	井関 照彦	Gaia企画部長	(株)プラスバイプラス 取締役
取締役	賀川 美穂	総務部長	
取締役	花田 大作	建設営業部長 兼 特販部長	
取締役	宇治川 浩一	開発部長	(株)ラグザイア 取締役
社外取締役 (監査等委員)	大矢 勝		
社外取締役 (監査等委員)	楠井 嘉行		楠井法律事務所 所長 三重交通グループホールディングス(株) 社外取締役
取締役 (監査等委員)	津田 由美子		(有)ツールース 取締役
社外取締役 (監査等委員)	中 博		(株)クビド 代表取締役

### ◆所有者区別株式分布状況

#### 所有数別



#### 所有者別



#### TOPICS 01

### 土木工事積算システム『Gaia Cloud』販売開始

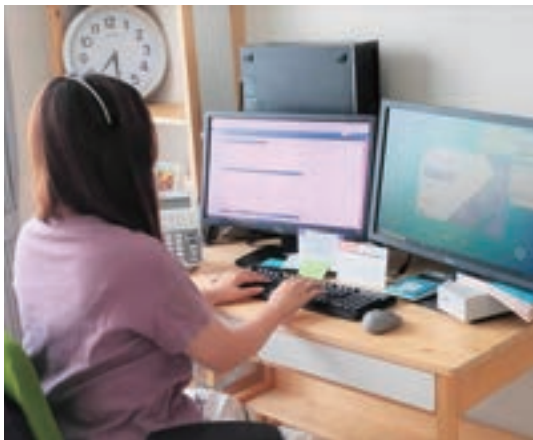
本年8月1日、当社は『Gaia Cloud』の販売を開始いたしました。『Gaia』シリーズ初のクラウド版で、積算に必要なデータをダウンロードの手間なく常に最新の状態でご利用いただけます。さらに、工事設計書データを取込むだけで積算が完了する「全自動積算」機能を搭載。取込にかかる時間も10分の1に短縮し、これまで以上にお客様の積算業務を強力に支援します。

当社はこれからも、お客様の声に耳を傾けながら技術刷新に努め、本当に使いやすいシステムを提供してまいります。



#### TOPICS 02

### 電話サポート部門でのテレワーク体制整備



当社では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年4月より全拠点でテレワークを実施しております。

電話サポート部門においても、お客様への影響を最小限におさえながら従業員の安全を守るべく、2月中旬よりテレワークの体制を整え、10月現在も5割のオペレーターが在宅で勤務しています。

当社はBCP対策として2013年頃から顧客情報・対応履歴管理システムおよび電話交換機のクラウド化などに取り組んでおり、コロナ禍においても早期対応が可能となりました。これに加え、3月初旬からの段階的なテレワーク移行やWeb会議・チャットツールを利用したコミュニケーション機会増により、在宅でもオフィス出社時と変わらない勤務環境を整えました。この結果、着信した電話にオペレーターが応答できた割合を示す「応答率」も前年同期比で改善し、お客様からもご好評をいただいております。現在はチャットボットの検討を進めるなど、さらなる体制強化に取り組んでいます。

今後も、ソフトウェア・サービスを通じて社会に貢献するため、状況変化に迅速に対応し、挑戦と成長を続けてまいります。

#### TOPICS 03

### オフィス移転

当社は、事業拡大への対応と業務効率化を目的として、本年8月より沖縄事務所の移転をおこないました。

新住所：〒901-2102 沖縄県浦添市前田 636-2 ALLURE (アリユール) 202 号室

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	毎年3月31日 (その他必要がある時は、あらかじめ公告する一定の日)
期末配当金 受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金 受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話番号:0120-232-711 (通話料無料) 郵送先:〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告の掲載	電子公告 ※ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた時は、日本経済新聞に掲載いたします。 電子公告の掲載ホームページアドレス <a href="https://www.beingcorp.co.jp/">https://www.beingcorp.co.jp/</a>
銘柄コード	4734

\*株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

\*特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎします。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。